

第 95 回日本選手権水泳競技大会

井田
憲吾



東京五輪へ向けて

いよいよ東京オリンピックまで 500 日を切り、オリンピック前年にあたる今年の大会は、7 月に行われる世界選手権（韓国）への代表選考会を兼ねており、厳しい派遣標準突破に照準を合わせたトップスイマーが、世界を意識した気迫溢れる積極的な熱いレースを繰り広げた。

バタフライ井田

プレッシャーを乗り越え

大会初日に行われた男子 50m バタフライに出場した井田憲吾海士長は、予選を順調に勝ち進み決勝へ。決勝では好調なスタートから半身飛び出し、後続を寄せ付けず一気にゴール。昨年自身が出した 23 秒 40 の日本記録を上回る 23 秒 27 という記録で、2 年連続の日本記録更新と大会 2 連覇を同時に果たした。レース後井田は、「2 連覇も記録更新もどちらも嬉しい。2 連覇と記録更新という二つのプレッシャーは今までに感じたことのない程のものだったが、勝ててほっとしている。」と振り返った。今後は「100m でもしっかりと戦える強さをつけていきたい。」と抱負を語った。



日本新記録を更新し、2 連覇達成の井田海士長（写真中央）

自由形 江原・宮本

自由形はメダル 3 個



肩の故障を抱えながらも闘い抜いた江原 3 等陸尉



着実に力をつけてきた宮本 2 等海尉

目に出場の新山政樹海士長は 50m も小関也朱篤選手（ミキハウス）、塩入龍斗選手（日本大学）に敗れ 3 位に終わった。

世界トップクラスの激戦区、平泳ぎ

渡辺、新山は銅

平泳ぎ種目に出場の渡辺隼斗 2 等陸曹は 100m で小関也朱篤選手（ミキハウス）、渡辺 一 平 選 手（TOYOTA）に一步及ばず 3 位に、また同種



世界トップクラスの激戦のなか銅メダル獲得の渡辺 2 等陸曹



50m 競技で銅メダル獲得の新山海士長

総合成績（決勝進出分のみ）

宮本陽輔 2 等海尉 (石川県出身)	400m 自由形 3 位	山崎貴大 海士長 (石川県出身)	200m 背泳ぎ 8 位
江原騎士 3 等陸尉 (山梨県出身)	200m 自由形 2 位 400m 自由形 2 位 800m 自由形 7 位	井田憲吾 海士長 (広島県出身)	50m バタフライ 優勝
渡辺隼斗 2 等陸曹 (広島県出身)	50m 平泳ぎ 4 位 100m 平泳ぎ 3 位 200m 平泳ぎ 4 位	新山政樹 海士長 (愛知県出身)	50m 平泳ぎ 3 位
大塚美優 2 等陸曹 (東京都出身)	400m 個人メドレー 7 位	高橋航太郎 海士長 (静岡県出身)	100m 自由形 7 位 200m 自由形 4 位

